

令和2年3月6日 国立大学法人北海道大学

北海道大学における新型コロナウイルス感染症罹患者の発生について

令和2年3月4日（水）夕刻、本学所属の職員が新型コロナウイルス感染症に罹患していることが判明しました。

本件を受けて、本人への聞き取り等により判明した事実及び大学として取った対応をお知らせいたします。

1. 罹患者の年代、性別、勤務先について

60代 男性 事務局（札幌市北区北8条西5丁目）勤務の職員

※札幌市発表の札幌市内20例目（道内83例目）の男性が該当します。

札幌市HP

<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/2019n-covhassei.html#h0305>

2. 診断日

3月4日（水）夕刻

3. 診断日前1ヶ月の海外渡航歴について

海外渡航歴はありません。

4. 症状の経過

2月22日（土） 咳、頭痛、全身倦怠感

2月26日（水） 症状消失

3月1日（日） 全身倦怠感

3月3日（火） 医療機関Aを受診、インフルエンザ検査陰性
肺炎像有り、検体採取

3月4日（水） 札幌市衛生研究所にて新型コロナウイルス陽性診断

3月5日（木） 国立病院機構北海道医療センターに入院 症状は中等症で会話は可能

5. 濃厚接触者への対応について

本人への聞き取り等を行い、本学での行動歴から、学内の濃厚接触者を特定し、最終接触日から14日間就業禁止とし、現在、保健所の指導による健康観察を実施中です。

なお、本人の勤務場所は大学事務局であり、自覚症状（咳、頭痛、全身倦怠）を感じた2月22日（土）以降、学生と濃厚接触した事実はありませんでした。

6. 大学事務局内等の消毒作業について

罹患者の勤務場所である事務局内の事務室，同人の行動導線上の設備等の消毒を3月5日（木）に実施しました。

7. 本学における取組について

本学においては，これまでも政府の方針，北海道における緊急事態宣言，有識者からの提言等を踏まえ，海外渡航制限，学生・教職員が罹患した場合の対応，感染拡大防止のための各種取組等を定め，本学HPに掲載するとともに，一斉送信メールやSNSを通じて学生及び教職員への周知に努めてまいりました。

今後も状況に応じて必要な対策を講じ，感染拡大の防止に努めてまいります。

参考：新型コロナウイルスに関する本学HPでの通知

【日本語版】

<https://www.hokudai.ac.jp/news/2020/01/post-622.html>

【英語版（English）】

<https://www.global.hokudai.ac.jp/university-life/health-and-wellness/covid-19-health-alerts-and-advisories/>

8. 本件に関する問い合わせ先

【報道機関の問い合わせ先】

総務企画部広報課広報・渉外担当

kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

【上記以外の方の問い合わせ先】

総務企画部総務課

soumu_kikaku@general.hokudai.ac.jp